



全国から21自治体が特産品や観光をPR 文京区の国内交流フェスタに下仁田町が出展！

区政70周年記念 国内交流フェスタ2017

- 期日：12月8日（金）～9日（土）
- 場所：文京シビックセンター
- 主催：文京区
- 内容：文京区と交流のある21自治体の特産品の展示・販売、自治体PR等

「文京朝顔・ほおづき市」で交流開始！

下仁田町が、文京シビックホールで開催された「国内交流フェスタ」に出展し、下仁田町産農産物や加工品の販売とPRを実施しましたので、その取組を紹介します。

このイベントは、文京区が特別区全国連携プロジェクトの取組の一環として、協定締結や事業協力等で同区と交流のある21自治体を招き、区政70周年を記念して開催したものです。

当日は、各自自治体の特産品の展示や販売、自治体PRの展示、協定締結自治体による伝統芸能公演等が行われ、各自自治体御当地キャラクターも多数PRに訪れました。

こんにゃく芋生産量の9割以上を占める群馬県において、下仁田町は本県こんにゃく加工品製造の約6割を担っています。文京区が開催する「文京朝顔・ほおづき市」の会場の一つである源覚寺は、眼病平癒の「こんにゃくえんま」として親しまれており、こんにゃくが結びつけた縁で下仁田町がこのイベントに参加するようになったそうです。

下仁田ねぎ等の下仁田町の魅力をPR！

今回の下仁田町ブースからは、今が旬を迎える下仁田ねぎを中心にお客様にPRしていました。下仁田ねぎに対するお客様の知名度は高く、下仁田町職員が下仁田ねぎの特徴や食べ方等を熱心に説明しながら販売していました。この他、ブロッコリー、里芋、りんご、キウイフルーツ等の下仁田町産青果物や神津牧場のバター、のむヨーグルト等の加工品も販売されていました。

下仁田町に工場があるハービー(株)からは、化学農薬を使用していない生のバラやさくら等の花びらをそのまま閉じ込めたジャムや榛名山麓の完熟梅を丸ごと絞り軽井沢の天然水を使った「梅生しぼり液」等の加工品が販売されていました。

また、下仁田町の特徴や観光情報がパネル展示されるとともに大型マルチビジョンでPR動画が放映され、下仁田ねぎ等各種農畜産物加工品のPRや移住の利点等を紹介したパンフレットを配布し、下仁田町の魅力を積極的にPRしていました。



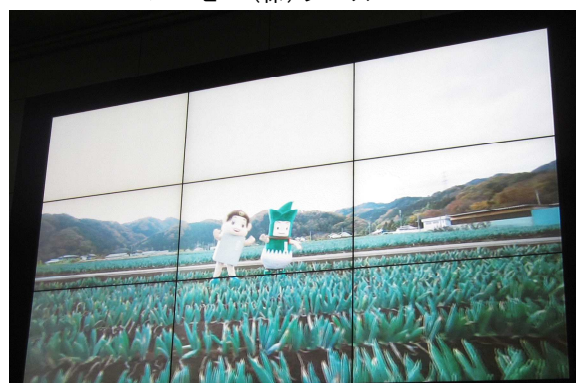
下仁田町ブース



ハービー(株)ブース



下仁田町商工会青年部のゆるキャラ「ねぎ坊」



大型マルチビジョンで下仁田町をPR